

令和2年度 練馬区死亡小票分析報告書（案）の説明資料

令和3年3月11日

地域医療課

1. 調査概要

- 調査目的

本調査は、練馬区における看取り死（死亡診断書が発行された死亡）の状況を分析することで、在宅療養環境整備の進捗状況を把握し、施策に活かすことを目的とする。

- 調査方法

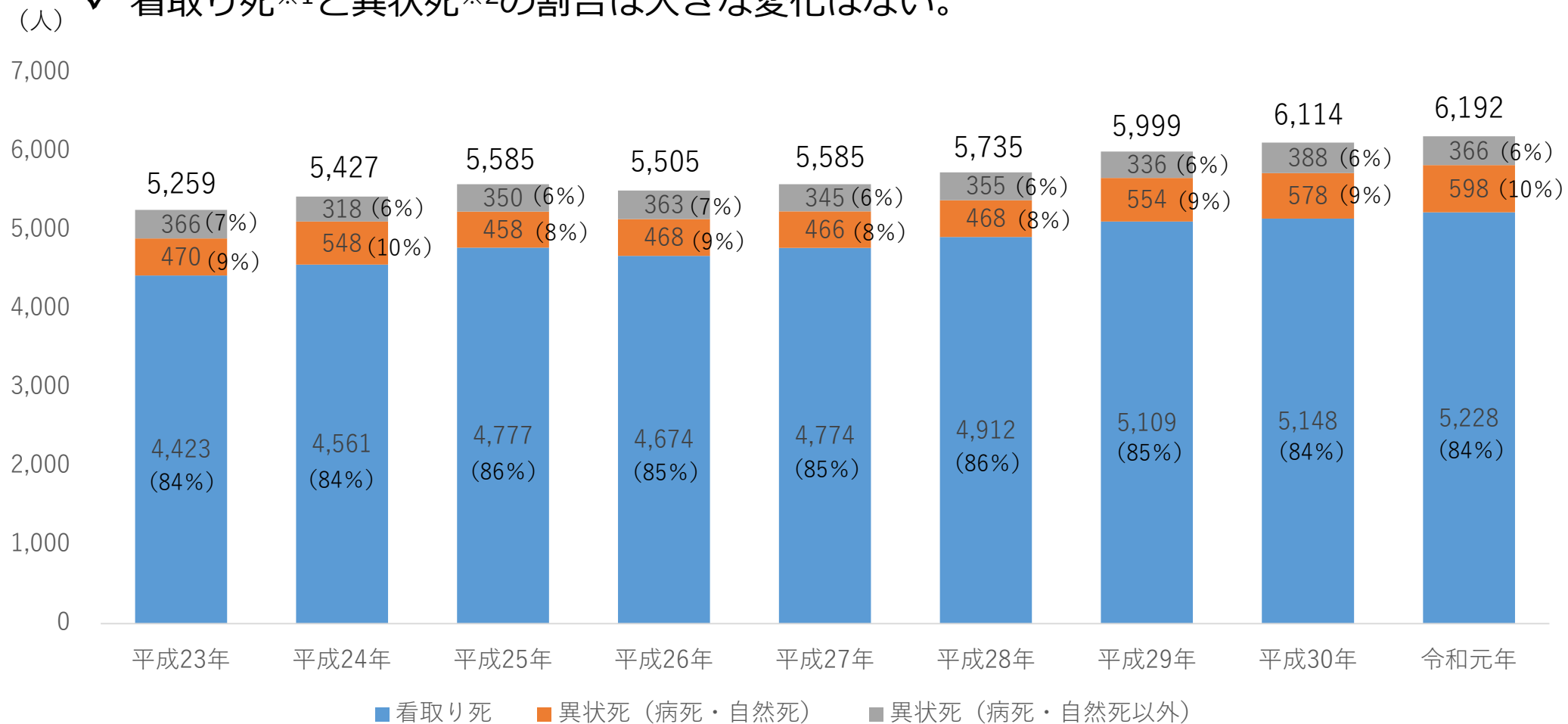
厚生労働省が実施する人口動態調査の死亡票を区独自に集計・分析した。

- 調査期間・対象

平成31年1月1日～令和元年12月31日に死亡した練馬区民を対象にした。また令和元年以前分については過年度の分析結果を用いた。

2. 練馬区民の看取りの状況

- ✓ 練馬区死亡者数は平成30年から78人（1.3%）増加している。
- ✓ 看取り死※1と異状死※2の割合は大きな変化はない。

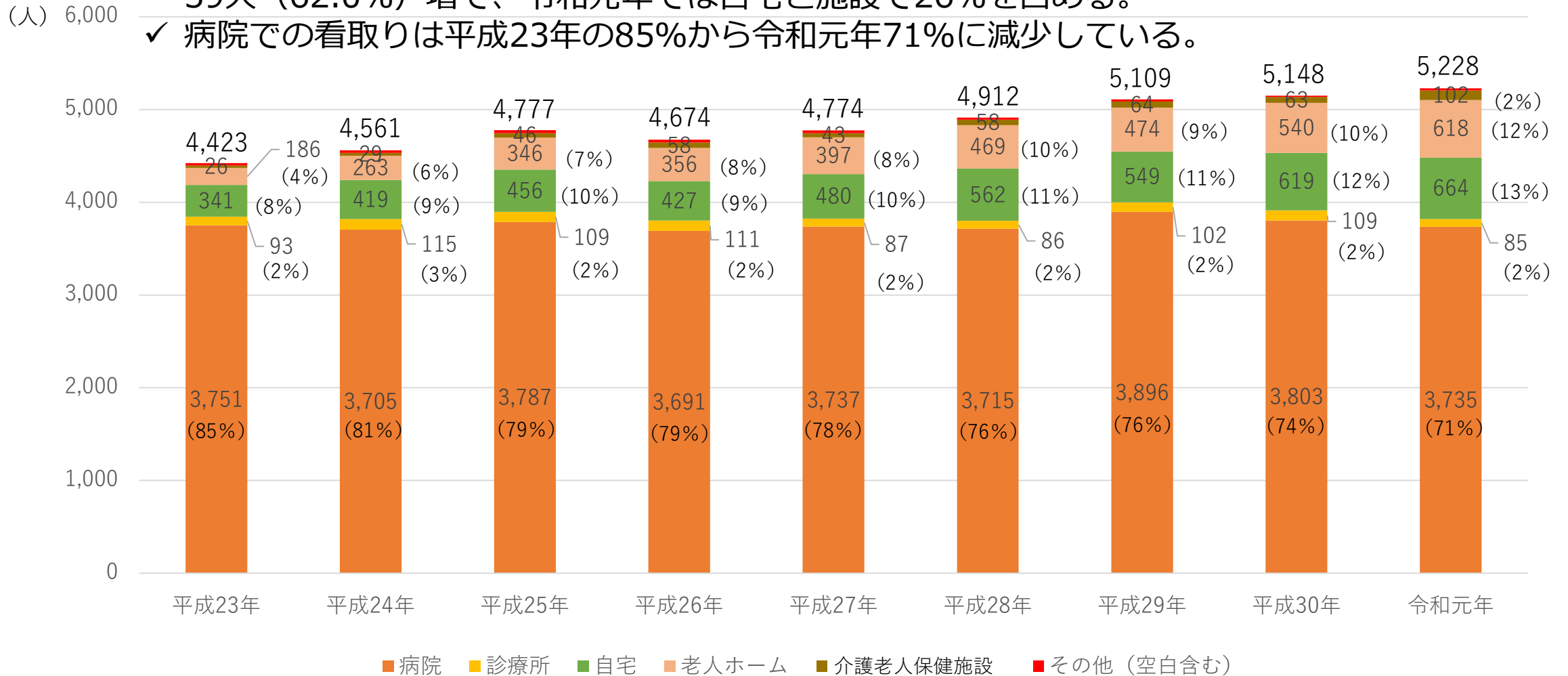


※1 看取り死：病死・自然死のうち医師（監察医・嘱託医以外）が死亡診断書を発行したもの。

※2 異状死：看取り死以外の病死・自然死のほか、交通事故等での死のうち、監察医・嘱託医が死体検案書を発行したもの。（23区内の東京都監察医務院で検案・解剖する不自然死）

3. 死亡場所別の看取り死数

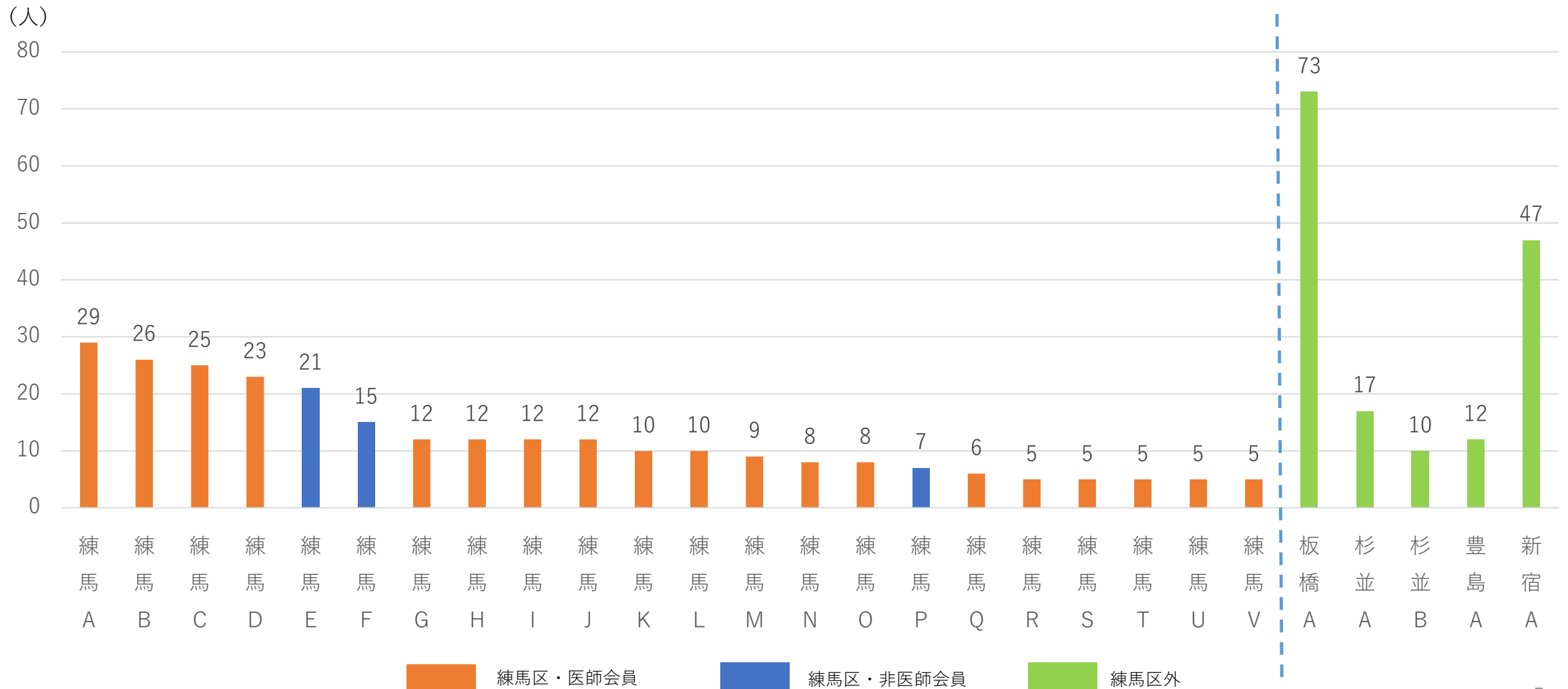
- ✓ 異状死を除く看取り死は、平成30年から80人（1.6%）増加している。
- ✓ 主な増加は、自宅45人（7.3%）増、老人ホーム79人（14.6%）増、介護老人保健施設39人（62.0%）増で、令和元年では自宅と施設で26%を占める。
- ✓ 病院での看取りは平成23年の85%から令和元年71%に減少している。



「老人ホーム」は、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホームを含む
 「その他（空白を含む）」は、空白のほか、障害者支援施設、警察署、屋外施設などを含む

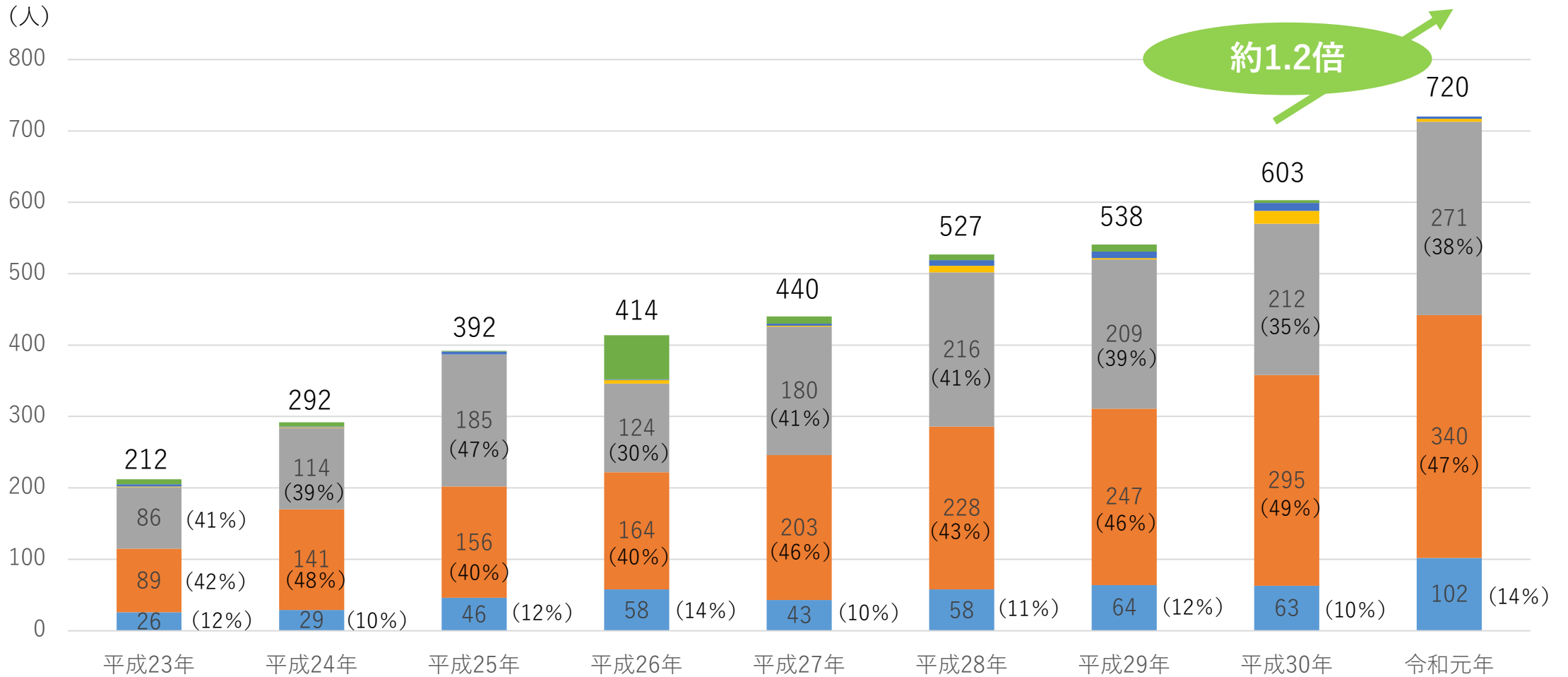
4. 医療機関別の在宅看取り件数（年間5件以上）

- ✓ 医療機関別の在宅看取り件数は、板橋区の医療機関が73件と突出しており、次いで新宿区の医療機関で47件だった。



5. 施設分類別の看取り件数（年間5件以上）

✓ 施設看取りは、平成30年と比較して令和元年は約1.2倍増加している。



約1.2倍

6. 将来死亡者推計

- ✓ 死亡者数は、令和17（2035）年に一旦ピークを迎え、一旦減少する。
- ✓ 令和27（2045）年以降再度増加に転じると推計される。

